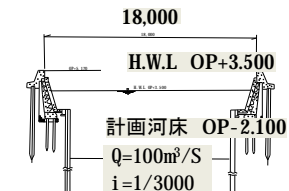
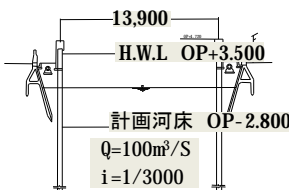
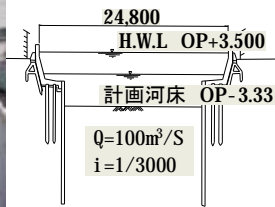




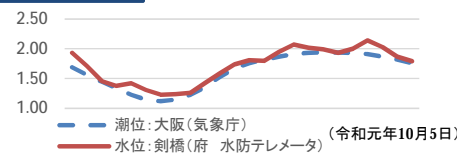
流水の状況(晴天時)

	① 平野下水処理場	② 竜華水みらいセンター	③ 大和川河内橋
放流量(t/年)	約1,319万	約880万	約2,900万
BOD(mg/L)	1.7	1.7	2.0
全窒素(mg/L)	14	5.7	—
全リン(mg/L)	0.6	0.1	—

河川の構造



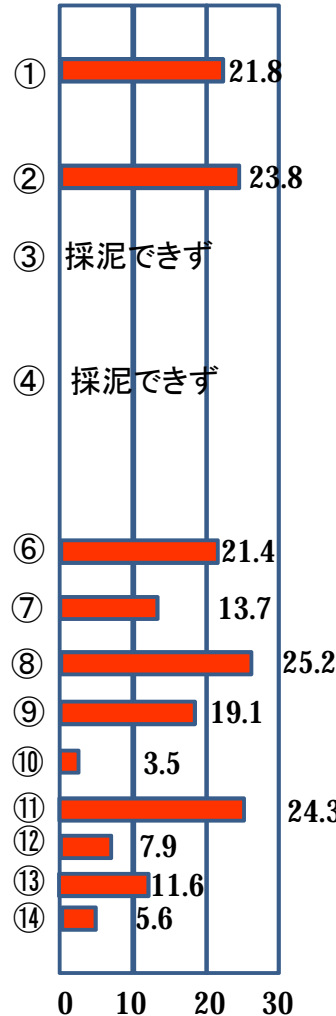
水位・潮位変動



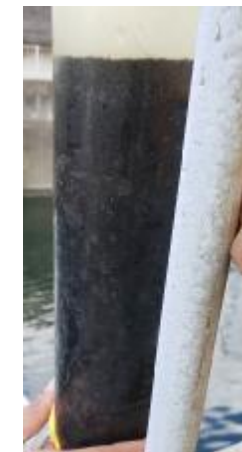
水質・底質の状況

1. 底質の状況(令和元年)

2. 水質の状況(平成30年)



	⑤-3 南弁天橋	⑤-1 入船橋
BOD(75%値)	2.5mg/L	—
DO(平均値)	6.1mg/L	—
全窒素(平均値)	8.4mg/L	—
全リン(平均値)	0.54mg/L	—
大腸菌群数(平均値)	1.7 × 10 ⁴ MPN/100mL	—
塩分	—	0.20



平野川の底泥

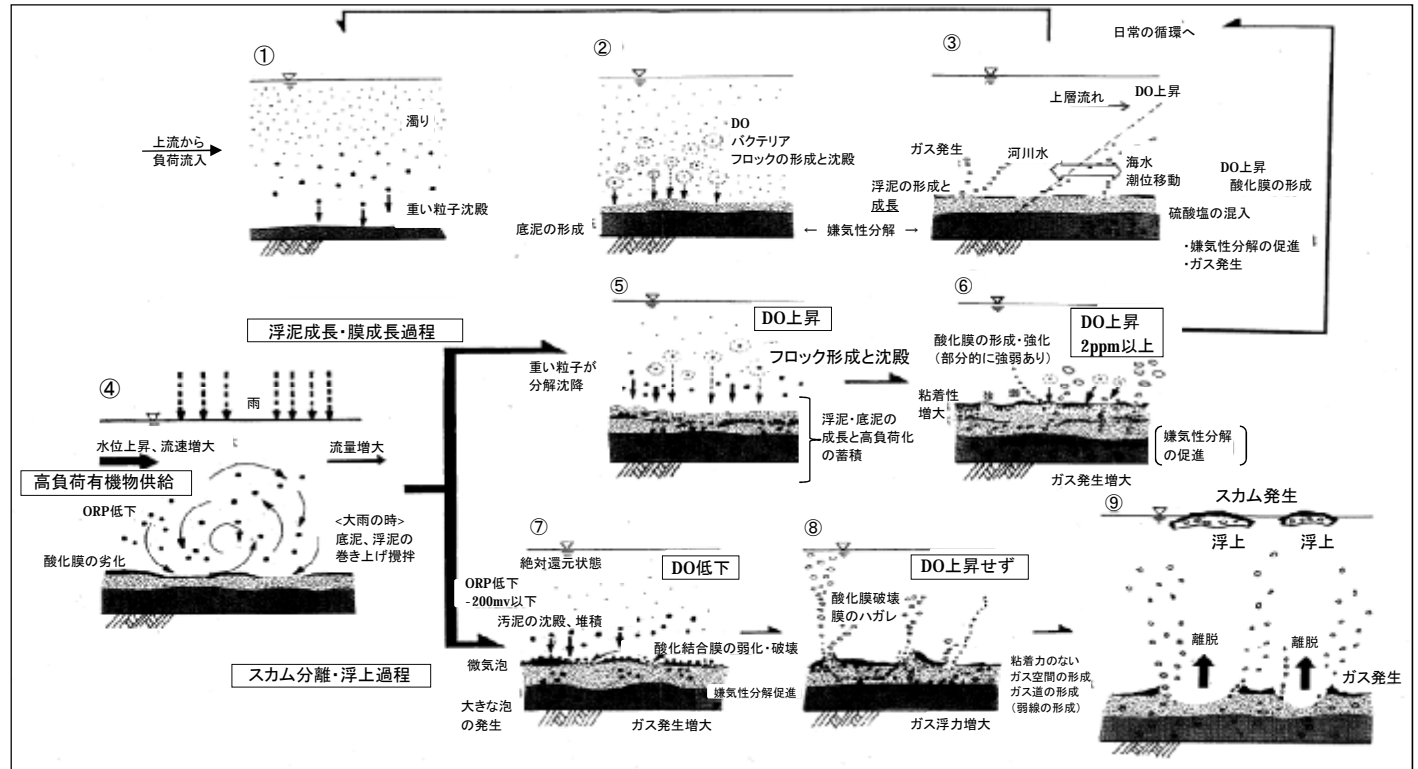
強熱減量(%)

(①~④、⑥~⑧、⑩、⑫、⑭)大阪大学提供 試料採取日:令和元年10月8日)
(⑨、⑪、⑬)試料採取日:令和元年9月13日)





■ スカム発生 の 概念 図



一級河川平野川スカム発生要因検討調査委託(その2)報告書 平成7年3月(寝屋川水系改修工営所)

凡例

スカム密度	川幅占有率
(Lightest)	1割未満
(Light)	3割程度
(Medium)	6割程度
(Darkest)	9割程度



スカム浮遊観察図(令和元年10月5日)

平野川に発生したスカム(南弁天橋: 令和元年8月21日)

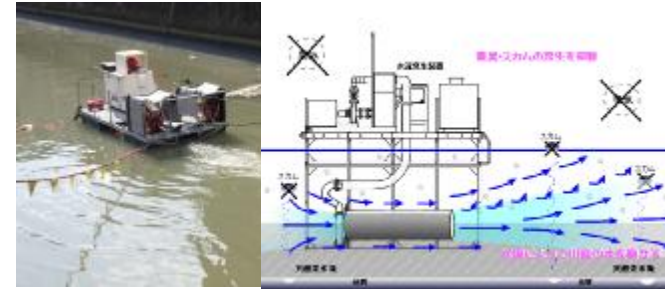
●これまでの対策



浄化浚渫



水面清掃船による沈降



水流発生装置による実証実験



固定カメラによるスカム発生状況の監視



スカムのAI判別(大阪大学_提供)

●平野川における薬剤等を活用した底質改善対策について(諮問)

・薬剤を活用した底質改善対策

底質改善が期待される薬剤を散布し、その効果を検証する。

【諮問事項】実証実験方法、評価項目・方法など